

同 志 社 法 学  
至自五三号（第十一卷）總 目 次

同志社法学 第十一卷 執筆者紹介 (ABC順)

高橋 貞三	同志社大学教授 法博	樋口 謙一	同志社大学助教授
田畠 烟	同志社大学教授 法博	井ヶ田 良治	同志社大学助教授
小野 哲	同志社大学教授	今井 仙一	同志社大学教授 文博
岡本 善八	同志社大学教授	金山 正信	同志社大学教授
故小松 堅太郎	同志社大学教授 法博	加藤 正男	同志社大学教授
君村 昌	同志社大学講師	君村 昌	同志社大学講師
杉江 栄一	三重短期大学講師	金原 光蔵	同志社大学嘱託講師
高田 保馬	大阪府立大学教授 文博	本城 武雄	同志社大学嘱託講師
竹内 治美	大阪樟蔭女子大学嘱託講師	山本 浩三	同志社大学助教授

高橋 悠	同志社大学助教授	高橋 悠	同志社大学助教授
内田 智雄	同志社大学教授 法博	内田 智雄	同志社大学教授 法博
八木 鉄男	同志社大学教授	八木 鉄男	同志社大学教授
山本 浩三	同志社大学助教授	山本 浩三	同志社大学助教授
本城 武雄	同志社大学嘱託講師	本城 武雄	同志社大学嘱託講師
金原 光蔵	同志社大学嘱託講師	金原 光蔵	同志社大学嘱託講師
杉江 栄一	三重短期大学講師	杉江 栄一	三重短期大学講師
高田 保馬	大阪府立大学教授 文博	高田 保馬	大阪府立大学教授 文博
竹内 治美	大阪樟蔭女子大学嘱託講師	竹内 治美	大阪樟蔭女子大学嘱託講師

論 説

通説について	田畠	忍	五三号
外国会社に関する立法・判例の変遷(一)	岡本	善	八五三一三
自由と鉄鎖	今井	仙	一五四一
公務員の抵抗の基本的責務について	田畠	忍	五四三二
外国会社に関する立法・判例の変遷(二)	岡本	善	八五四四五
フランス革命憲法における半直接民主制	樋口	謹	一五五一
魏律「序略」について二・三の問題(上)	内田	智雄	五五一五
外国会社に関する立法・判例の変遷(三・完)	岡本	善	八五五三七
階級と政党(五・完)	小松	堅太郎	五六一
小松教授の共益社会論について	高田	保馬	五六三二
戦争と政治	今井	仙	一五六
——クラウゼヴィッツの「戦争論」を中心として——	樋口	謹	一六五八四
政治における決定要因	君村		
——フランス革命を手掛りとする数学の一試論——			
高級公務員の養成と大学教育			
——アメリカにおける三つの主張——			

魏律「序略」についての二・三の問題（下）	内田智雄	五七	一	
滋賀秀三氏の「曹魏新律十八篇の篇目について」に寄せて――	田畠	忍	五七	一四
最高裁判所の砂川判決について				
安保条約第三条に基く行政協定に伴う刑事特別法違反事件に於ける最高裁判所判決の違憲性について――				
「自然法の再生」とイギリス法理学	八木鉄男	五八	一	
統・戦争と政治	今井仙一	五八	一二	
トライチュケの「政治学」を中心として――				
封建的村落共同体と村撻（一）	井ヶ田良治	五八	五一	
丹波国保津村五苗集団の村落支配――				
「図式政治学」えの試み	小野哲	五八	七九	
政治学における図式――				

### 判例研究

同一建物につき二重に登記の存する場合に先になされた登記が無効と認められた事例	金山正信	五五	五四
瑕疵ある登記申請に基いてなされた登記の効力	金山正信	五七	四五
保険会社の支店次長の千着分の服地買受と表見代理の成否	岡本善八	五七	五六
回復登記申請期間の徒過と所有権取得の対抗力	金山正信	五八	九三

資料

判例契約法に関する一つのコンメント(1) ······	加藤 正男 ······	五三一 ······	三六	
——契約法総則(1) ——				
第一共和国憲法(訳) ······	山本 浩	三一 ······	五三一 ······	四六
国際法律家連絡協会の要請に答えた「憲法と条約」 ······	田畠 忍	三一 ······	五三一 ······	五八
の関係をめぐる諸問題にかんする私見				
トルコの印象(1) ······	高橋 貞三	三一 ······	五三一 ······	六三
事情の変更と契約の解釈 ······	本城 武雄	三一 ······	五三一 ······	七一
——Hans Smit 氏契約失効論の紹介——				
勢力均衡論について ······	杉江 栄一	一 ······	五四 ······	六六
——モーゲンソーおよびオルガンスキーの所説の検討——				
第二帝政の憲法(1)(訳) ······	山本 浩	三一 ······	五四 ······	八八
判例契約法に関する一つのコンメント(1) ······	加藤 正男	三一 ······	五四 ······	九八
——契約法総則(1・完)——				
アメリカにおける行政組織論の動向(1・完) ······	君村 昌	三四 ······	五四 ······	一〇五
アメリカ法におけるMortgageについて(1) ······	竹内 治美	三四 ······	五四 ······	一一五
訳註 晉書刑法志(因) ······	内田 智雄	三四 ······	五五 ······	六〇
第一帝政の憲法(1・完) ······	山本 浩	三一 ······	五五 ······	七七

一七九一年の憲法(一)(訳) ······	山本浩	三五六六一二四
米州における不干涉の原則(一) ······	高橋悠	五七六二
—A・J・トーマス教授夫妻著「不干涉」を中心として—		
一七九一年の憲法(二・完)(訳) ······	山本浩	三五七七二
Trespass(その一) ······	金原光藏	五七八六
—アメリカ不法行為法覚書—		
訳註 晉書刑法志(五) ······	内田智雄	五七九四
一七九三年の憲法(訳) ······	山本浩	三五八一〇三
書評		
「保守主義研究」(北岡博士)と 「比較政治制度」(野村教授)について	田畠忍	五七一〇五